

・安心・簡単・安い

大腸がん検診を 受けましょう

大腸がんは便の検査によって早期発見できます

早期であれば、
90%
以上が完治します



大切な人のために!
自分自身のために!

女性がなるがんの

第2位

男性がなるがんの

第2位

検診は健康な人が対象です まず便潜血検査を受けましょう



便潜血検査

異常なし

40歳以上は
翌年も
便潜血検査！

精密検査が
必要な場合は、
必ず受けましょう！

がんの
疑いなし

大腸内視鏡
検査

がんの
疑いあり

大腸がんの
診断

治 療



便潜血検査とは

便に潜む血液の有無を調べる検査です

- 簡単で有効な検診の方法
- 便の表面をまんべんなくこすり、
容器に入れて提出するだけ
- 詳しくは検査キットに入っている
説明書を読みましょう



ただし、便潜血検査は完璧ではありません。大腸がんの見逃しや、逆に大腸がんではないのに「大腸がんかもしれない」と言われる可能性もあります。それだけに毎年受診して健康状態を見ることが大切なのです。

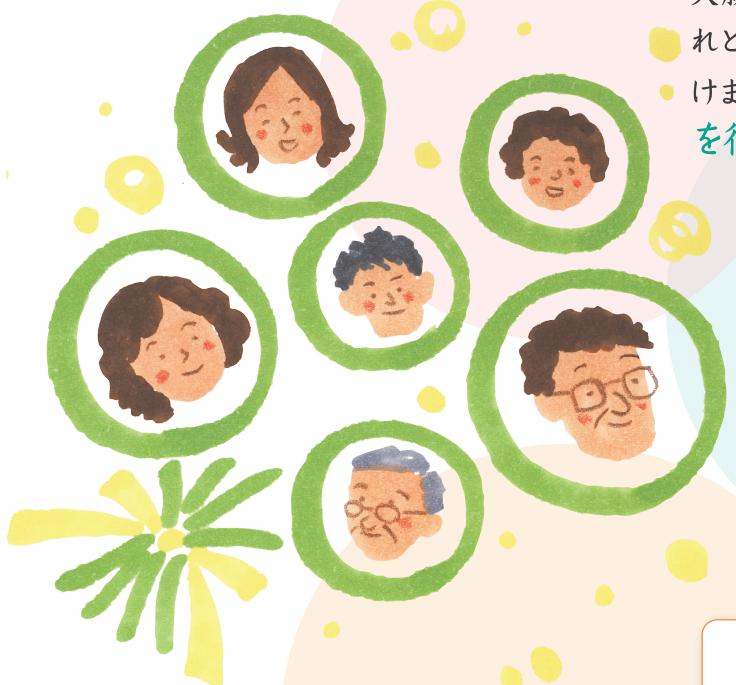
便潜血検査のメリット

安心
簡単
安い

便潜血検査による大腸がん検診は、がん検診の中でも死亡率が下がることが最もよく証明されています

便潜血検査による大腸がん検診を受けた人では死亡率が60～80%低下し、進行がんが約50%減ります

受診者の声



便潜血検査を受けたら、「精密検査が必要」との結果でびっくり。その後、大腸内視鏡検査で早期の大腸がんが見つかりましたが、完治しました。検診を受けてほんとうによかった、と実感しました。（60代男性）

大腸がんって自分には関係ないと思っていたけれど、女性のがんの第2位と聞いて検診を受けました。便の検査だけで**安価**で**安心**を得られるのでおすすめです。（40代女性）

ふだんから便秘がちで大腸がんが気になっていましたが、調べるのが怖かった。市の広報で大腸がん検診は最初は**便を採取するだけ**とわかり、すぐに受けました。こんなに**簡単**だったら、もっと早く受けければよかったと思いました。（50代女性）

精密検査が必要と言わされたら 大腸内視鏡検査を受けましょう

大腸内視鏡検査では、大腸全体の内部を観察します。病変が見つかれば、その部分の細胞を採取して、悪性度を調べます。



検査用の食事や下剤の服用など、あらかじめ検査の前日からの準備が必要になります。比較的安全な検査ですが、デメリットもあるので、医師に説明を求めてから検査を受けることが大切です。

Q&A

Q 1

便潜血検査の自己負担はいくらくらいですか？

A 1

市区町村や職場によって異なりますが、おおよそ1000円以下です。

便潜血検査は、がん検診の中では最も安価なものひとつです。1000円以上の場合はありますので、詳しくは市区町村や職場の窓口に直接問い合わせてください。

Q 3

どのくらいの割合で大腸がんが見つかりますか？

A 3

便潜血検査を受けた人のうち、1000人に1～2人です。

便潜血検査で「要精密検査」という結果が出るのは約7%、そして、精密検査の後に実際に大腸がんと診断されるのは約0.1～0.2%で、そのうちの約70%が「早期がん」です。

Q 2

早期の大腸がんには自覚症状はありますか？

A 2

早期には自覚症状はほとんどありません。

肉眼では見えなくても、便に微量の血液が混じることがあり、そのため検診では便潜血検査が行われます。

すでに「便に血が混じる」「便秘と下痢を頻繁に繰り返す」といった症状がある場合には、検診ではなく、医師の診察を受けましょう。

Q 4

痔のある人は便潜血検査で陽性になりませんか？

A 4

必ずしも陽性になるとは限りません。

もし陽性になったときには、痔があるからと思い込まないで、必ず精密検査を受けましょう。大腸がんが発見されたとしても早期であれば90%以上が完治します。

大腸がん検診の受診については、市区町村や職場におたずねください。

このリーフレットは、厚生労働省がん研究助成金「がん検診の適切な方法とその評価法の確立に関する研究」班と、8人の一般市民が参加した大腸がん検診リーフレット作成委員会で作成しました。

科学的根拠に基づくがん検診推進のページ
<http://canscreen.ncc.go.jp/>
からもダウンロードできます。

大腸がんに関する情報

国立がんセンター
がん対策情報センター（がん情報サービス）
<http://ganjoho.jp/public/index.html>